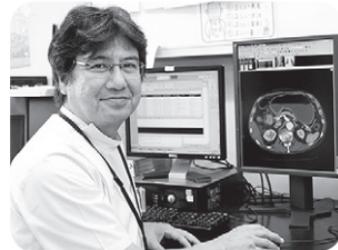


★ここが知りたい!★ 米沢市立病院紹介 ⑮ ☆^{かんわ}緩和ケア^{ないか}内科編☆

今回は「緩和ケア」について、乳腺外科長兼緩和ケア内科長の橋本敏夫医師（写真：右）にお話を聞いてみましょう。



Q 緩和ケアとは、どのようなものですか？

A 緩和ケアは、英語で「^{パリアティブ ケア}palliative care」といいます。「^{パリアティブ}palliative」の語源はラテン語の「^{パリアム}Pallium」。コートやマントを意味します。つまり「寒さに震えている人を温かく包み込む」気持ちや行為が緩和ケアの根底に流れています。緩和ケアでは、人々が辛い思いをする局面を大きく4つに分けています。
①身体面（痛み、息苦しさなど）、②精神面（不安、憂うつなど）、③社会面（経済、対人関係など）、④スピリチュアリティの面（自分の存在に関する哲学的・宗教的な悩みなど）。これらの局面は、実際には重なりあって個人の苦痛になります。その苦痛を和らげる医療を緩和ケアといいます。

Q 緩和ケアは、どんなときに受けるのですか？

A 例えば「がん」と診断されたときは、ひどく落ち込んだり落ち着かなかったり、眠れないこともあるかも知れません。抗がん剤や放射線治療では、食欲がなくなったり吐き気を催すなどの副作用が起こることもあります。苦痛は、がんの早い時期にも進んだ時期にも見られます。そのままでは治療も辛く、生活への影響も大きくなってしまいます。

緩和ケアは、患者さんのどのような症状であっても、どのような時期でも受けることができます。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>